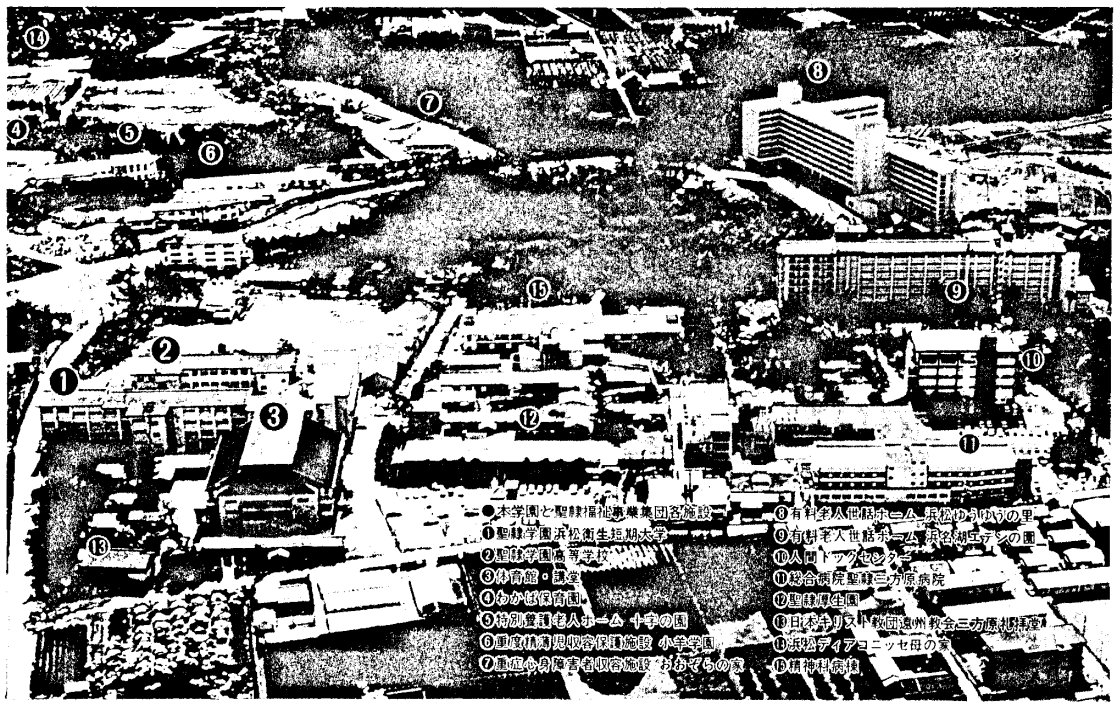


聖隷学園報

発行所
学校法人
聖隷学園
浜松市三方原町3453
電話(0534)36−5311
郵便番号　433
発行責任者　長谷川　了

聖句

セ行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。ハ病人をいやし、死人をよみがえらせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出せ。ただで受けたのだから、ただで与えるがよい。

（マタイ一〇章七−八節）

聖隷の精神

学園理事長
短大学長　長谷川　保

昭和二十年八月十五日　十数年に亘る日本の戦争は、惨胆たる敗戦の中に終った。敗日の間、遠州掛川在の農家の納舎での、キリストとの対座の祈りの中に将来の方策を練った僕は、三方原に帰るとその夜、百名近いキリスト者の職員と戦災の避難者を三省寮の集会室へ集めて、日本を、スウェーデンやデンマークの如く、キリスト精神によって復興することを申し渡し、それまで、全職員は無一物・無所有・無報酬で修道士として働く。それの出来ない者は、聖隷保養農園の全財産を分配するからすぐここを立退いて貰いたいと言い渡した。然し、満座の中だれも去ろうと言う者はなく、逆に、一同は有てるものを献げて、日本の復興運動に用いられたいと申出でその額は十万円にも達した。

聖隷保養農園は、昭和の初め、亡国病と言われる程にしようけつを極めて国民の恐怖的であった肺結核にかかり、生きる途を失った貧しい結核患者を教療する目的で建設されたもので、もともと全職員は、新約聖書のマタイによる福音書第十章一〜一〇「行って天国が近づいたと宣べ伝えよ。病人をいやし、死人をよみがえらせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出せ。ただで受けたのだからただで与えるがよい。財布の中に金、銀または銭を入れて行くな。旅行のための袋も、二枚の下着も、くつも、つえも持って行くな。働らき人がその食物を得るのは当然である」のみ言葉に立って創設経営されたもので、当時は無一物、無報酬の生活を建前として全職員は生活していた。

遠州学園は、昭和二十一年、敗戦灰燼の日本を復興せんとして、衆議院議員長谷川保、浜松高等工業学校教授福原達三、日本キリスト教団遠州教会牧師松本美実その他の人々、即ち前記の会議に出席した人達によって、同じ敗戦から立ち上ったスウェーデンの如く、デンマークの如くにキリスト精神によって日本を復興せんとして設立した遠州キリスト学園に始まる。その最初の校舎は、日本陸軍の航空通信部隊であった第九十七部隊の兵舎を解体して移転改築したものであり、その建築資金は米国から戦後いちはやく派遣されて来たストーン宣教師が、日本復興の原動力としようとして、全国に建設していた農民福音学校資金によったものであったことは、正に我々の学園創設の精神を象徴する神様の御摂理であった。このストーン宣教師は戦前、カナダメソヂスト教会の宣教師として、現在の高町にある日本キリスト教団浜松教会の前身である宣教師館や秋葉坂下にあった宣教師住宅に住んで、遠州全域に宣教活動をした人で、後に大台風の中で青函連絡船洞谷丸が沈没した時に遭難し、浮き輪につかまって荒波の中に漂流していた時、たまたま一人の日本婦人が、正に波に呑まれようとしているのを見て、その浮き輪を渡して助け自らは波間に沈んで行った人である。

翌日、死体となって漂着しているのを、聖隷病院と関係の深い平野一城牧師らが発見したと言われているが、このストーン宣教師の献げた勇気によって遠州キリスト学園即ち今日の聖隷学園が創立されたことは、これまたまことに聖隷の精神を象徴するものである。

敗戦と共に、聖隷保養農園の事業は、結核患者の教療のみならず住む家もない戦災者やしらみだらけの浮浪者や、正に餓死しようとしていた母子世帯の救済や精薄の哀れな街娼婦人の救済にまで広がった。長谷川保が衆議院議員として作った生活保護法や憲法二十五条の法的裏付けと国会議員としての地位は結核病院の急速な拡張発展をも可能にし、ここに看護婦の急速な養成を必要とすることとなり、もともとデンマークの国民高等学校をモデルとして創設された遠州キリスト学園は、飯野美礼子西林ミサ氏等を迎えて、昭和二十七年に、聖隷准看護婦養成所に発展したのである。

昭和三十三年、長谷川保が、衆議院文教委員長として米国及びヨーロッパを調査旅行した際、世界の先進文明国では看護婦志願者がないと言う実状を知り、日本における看護婦教育の重大性を痛感して、衆議院文教委員会、社会労働委員会で、看護婦養成の問題を取り上げると共に、当時ようやく日本経済の発展期を迎え、准看養成所ではこの問題解決の見込みなしと決意して、聖隷学園高等学校を設立、衛生看護学科を設けた。そして、「神を畏れ、人を愛し、自らを清純に」の聖書のことばを校是とした聖隷精神に立つ学校教育を進めたのである。かくて、三年経ち第一回高校卒業生が出ることになったが、斉藤寿男知事が約束した看護短大の建設を静岡県は実行することが出来ず、斉藤に代った竹山知事もこれを実行する意志を有たないので、昭和四十四年非常な財政危機を承知の上で、信仰により頼んで、大胆不敵にも浜松衛生短大二年制看護学科を建設したのであった。国家も県も市もやり得ないが国民のために必要ならば、一文なしでも信仰のみに立って必ず実現して行く聖隷精神が、祈りの中に爆発して静岡県最初の看護短大は実現したのであった。

昭和四十八年には、更に、将来准看護婦制度がなくなるであろうことを見通し、看護養成の急務を思い、普通高校の卒業生が入学出来る三年制看護短大を建設したのであるが、これが実現する契機となったものが、もう一つあった。それは日本の老人問題である。前述した昭和三十三年に長谷川保が欧米を調査旅行した時発見した事実なことに、日本の老人の自殺率が世界一であることと、欧米では肺結核の治療法が革命され化学療法が進歩して結核問題は急速に解決しつつあることがあったのである。ここで聖隷清神の新展開が起きた。即ち、肺結核が既に山を越えたなら、更に我々は地域の誰もなし得ない困難な問題の解消のために新らしい奉仕をしようと。そして静岡県内で出来ない心臓病外科手術治療をする聖隷浜松病院が誕生して行った。又世界一の自殺から老人を救う為に昭和三十六年に十字の園が設立され、これがモデルになって老人福祉法が制定され全国に五百の特別養護老人ホームが設立されて現在五万五千人の寝たり老人が救われることになったのだが、然るにもかかわらず、いまなお七十才以上の高令者の自殺、孤独死等は世界一であり一方健康な老人を収容保護する公私立の養護老人ホームは半数空ベッドになっている。これは養護老人ホームがあまりにも貧乏人多人数雑居制で死ぬのを待っているような惨めなものであるからである。これを解決する為に発明されたのがエデンの園世話ホームである。僕は最初の構想から、ここに老医師や老教授、老看護婦が多く集るであろうと考えたが、事実その通りになり、これらの成熟能力者をもって三年制看護短大の教授陣を得ることになった。既に、その卒業生が出るに到ったので聖隷二病院を充実し、殊に、今まで見殺しにしていた多くの未熟児の生命を救う東洋一の未熟児センター等を建設することが出来たのである。今や聖隷学園は、日本の学校教育が忘れ果てて堕落をして了い、日教組委員長自ら、「教育の荒廃を救う唯一の道は、教師自らの内心の荒廃を解決しなければならない」と悲痛な号びをしている時「神を畏れ人を愛し、自らを清純に」との旗を高くかかげて後期中等普通教育を実践すると共に、全国民殊に痛める人々に奉仕するために我が国最大の看護婦学校として、凡ゆる困難を乗り超え解決して行くのである。（七七、一一、二〇）

学校法人聖隷学園新役員

（在任期間　昭和52年7月7日〜54年7月8日）

◇理事

長谷川保	聖隷学園短大学長
西村ミサ	聖隷学園高校長
長谷川力	聖隷福祉事業団専務理事
鈴木唯男	前聖隷厚生園園長
佐々木ノブ	聖隷学園短大教授
西村二之	遠州基督教会牧師
関口一雄	聖隷三方原病院長
中山耕作	聖隷浜松病院長
鹿内健吉	聖隷三方原病院副院長

◇監事

鈴木利三郎	前聖隷福祉事業団常務理事
土屋豊年	聖隷福祉事業団本部総務部長

◇評議員

長谷川保	聖隷学園短大学長
西村ミサ	聖隷学園高校長
松本伸吉	聖隷学園高校校長代理
吉田　潤	聖隷学園高校教頭
佐々木ノブ	〃　〃　短大教授
菅野保次	〃　〃　教授
鈴木良見	〃　〃　事務局員
山川　陽	〃　〃　〃
上野桂子	〃　〃　卒業生
浅井　民	〃　〃　〃
原島すみ江	〃　〃　〃
長谷川力	聖隷福祉事業団専務理事
鈴木唯男	前聖隷厚生園園長
青木良一	高校PTA会長
松本秀夫	〃　副会長
宮崎　洋	短大後援会長
斉藤正男	衆議院議員
猪俣和仁	聖隷検診センター所長
田中市太郎	聖隷福祉事業団本部職員
西村二之	遠州基督教会牧師

高校キリスト教教育週間

「自らを清純に」

11月7日～12日

今年も神さまの恵みのうちにキリスト教教育週間をもつことができ、心から感謝しています。今年は標記のテーマで、長谷川八重子（理事長夫人）、鈴木唯男（前厚生園々長）、榎本愛子（静岡英和校長）、宮崎まさ子（前わかば保育園々長）、松本美実（前遠州教会牧師）の各氏を講師として迎えることができました。このほかに恒例となりましたアジア学院（東南アジア農村指導者養成所）の留学生、職員三十二名を迎え、生徒の家庭に分宿し、よき交わりの時をもつことがゆるされたことも感謝でした。各講師からは、奉仕に生きた尊い人生のなかから、いかに生きるかを教えられました。一言一言が胸をするどくさしたようでした。多くの感銘深いお話しの中から、今回は特に鈴木唯男先生の講演から要旨を紙面のゆるすかぎり、ご紹介したいと思います。

結核患者とともに

「あなたは若い時の情欲を避けなさい」（Ⅱテモテ二、二二）。これは先生が選んでくださった聖句です。

先生は十七才の時、長谷川保のクリーニング店に小僧に入ります。入って十日もたつかたないうちに集金を任せられ、主人は一枚のつけも調べず金庫に収め、事業に失敗した人が相談にくると中味を確めないで金庫を逆にして「どうぞお持ちください」というなど、半年か一年の間に一生を支配する問題が与えられます。長谷川さんたちが一体何で生きているのかたずねざるをえない状況におかれるのです。

これが先生の人生のスタートでした。この時十七才でした。クリーニング店で八年間働いた後、すべて

米国看護教育視察

教授　津久井　十

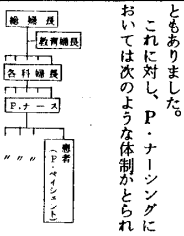
10月2日から13日まで、米国看護教育研修視察団に参加する機会にめぐまれ、4ケ所の看護大学と附属病院を見学してまいりました。それらの中から、ボストンのベス・イスラエル病院における、プライマリー・ナーシング（Primary Nursing）システム＝第一線看護体制について、御紹介いたします。

今、全米病院協会はこの制度を提唱していますが、この制度の根本精神である「Your Right of a Patient」（患者としてのあなたの権利）ということを最初に世に訴えたのが、ベス・イスラエル病院のラブキン院長だとのことでした。私達はこの病院の、クリホード総婦長の講義を伺うことができました。

当病院では、3年前に従来のチーム（Team）・ナーシングからプライマリー（以下Pと略す）・ナーシングに組織改革を行いました。この制度は一口で言えば、ある患者の入院から退院までを一人の看護婦（P・ナース）が一貫して責任をもつという看護体制です。

チーム・ナーシングにおいては数人の看護婦チームが集団で20人程度の患者を担当します。この場合、チーム内での連絡が不十分であると、患者の体温、脈博、血圧等の数字はわかっても、患者個人の細かい状態を知った上での看護（「本来の看護」）ができないということがおこります。又、総婦長から各チーム内の看護婦までの、指示・報告系統が大変複雑で、組織全体の意志疎通が妨げられることもありました。

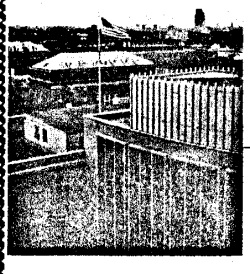
これに対し、P・ナーシングにおいては次のような体制がとられました。



まず組織全体の単純化がなされました。この体制の中心になるのは、P・ナース達です。P・ナースとは、各人が受持つ4～5人の患者＝P・ペイシェントについては、その看護計画のアセスメント（情報収集や問題点の判別査定）から、看護の遂行、評価まで、全面的に責任を持つ、専門的な有資格看護婦です。彼等は担当患者の看護については、最終的に決定する権限をもっています。この資格をもつのは、公認の看護婦学校を卒業し、州の現行登録に登録されている看護婦ですが、四年制大学卒の看護理学士がより望ましいとのことでした。

ラブキン院長のなさったあいさつの中に、この制度の有様がよくうかがえます。

「私はP・ナーシング（第一線看護体制）に誇りを持っている。この体制によって、看護婦という職業（その技能や感受性や専門性を向上させることができた。医師の記録も看護婦の記録も同じであり、私としては医師より看護婦にみてもらいたい。患者が退院後誰に電話をかけてくると思いますか？看護婦にかかってくる。入院中には患者と共に、家族も教育される。この制度になって、患者の苦情がなくなった。以前は、検査室から朝食抜きで患者を送るようにいわれ、何時間もたって患者は飢餓状態で帰ってきたものだ。今では、個人々々の計画を立てるので患者に不必要な苦痛を与えることがなくなった。」



この病院では建物もこのシステムにそくして建てられています。診察や検査のたびに患者があちこち動きまわる必要がないよう設備されています。

「Whats the Big Idea」というローガンが病院の各所で見られました。

専門職としての看護婦育成のひとつの目標を、プライマリー・ナーシング・システムに見ることができました。

北米日系人キリスト教宣教
百年祭に出席して

教授　山田基男

このたび学園のお許しを得て、十月上旬サンフランシスコで開かれた宣教百年祭に出席した。参加者は日本から二百名、ハワイ、カナダ、南米ブラジルからも加わり千数百名の大集会が一週間にわたって連日連夜、シェラトン、パレスホテルを会場に開かれ、カーター大統領も祝辞を寄せられるなど大盛会であった。

在米日本人のために伝道が開始せられて百年になる。そのみめぐみの跡を顧みると共に、これを機に日系二世三世四世への伝道を強化拡大し更に近年激増しつつある留学生、商社マンをも教会に導きたい。そのためには日本のキリスト教界の協力応援も得て、太平洋を愛と祈りで結びつつ教勢の増強をはかりたい。これが百年祭の主旨である。

このために加州の日系諸教会が二年にわたって準備されただけあってプログラムも多彩で、厳粛な開会礼拝に始まり、講演、パネルディスカッション、牧師信徒大会、それに朝は朝禱会、夜は米国の夕、日本の夕、青年の夕、引退教職及未亡人への感謝晩餐会など帝沢山の行事が連日連夜続いた。特にキリスト新聞武藤富男主筆の講演は戦後三十年の日本基督教界の歩みを、該博な知識情報を駆使して明快に解説されたもので好評を博した。

なおスタンフォード大学のイエスのパロアルト日系教会で聖日礼拝を守ったが、高木牧師夫妻をはじめ何人かの教会員は先年わが聖隷に来訪、旧知の間柄であったので大歓迎を受け感謝であった。

◎看護士誕生

第1科（三年制）第一回卒業生の中から、この春、4人の看護士（男子）が生まれました。

× × ×

私はこの春、聖隷短大を卒業し看護士として働いています。看護婦さんと同じように夜勤をし、女性の患者さんも受け持っています。そんな中で感じるのは、看護は、女性と男性が助け合い協力しあっているのが本来の姿ではないかということです。その意味で、聖隷短大で、看護士の養成と教育に今以上に力を入れてほしいと希うものです。

聖隷三方原病院勤務　加藤伊千夫

◎ICN 東京大会出席

四年毎に行われる看護婦国際大会第十六回大会が東京日本武道館で開かれました。参加人数は約一万二千名に及び国際色豊かで、わが国最大の国際会議となりました。「看護の限りない可能性を求めて」をメインテーマとして、世界の現況・将来への展望などが話され、看護婦の地位向上が強調されました。五日間を通し学生であることの責務と喜びを深めました。

I科2年　稲館ひろ子

〈聖書の言葉〉
失われた羊

牧師・教授　西村一之

イエスはこの十二人をつかわすに当り、彼らに命じて言われた、「異邦人の道に行くな。またサマリヤ人の町にはいるな。むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行け。行って「天国は近づいた」と宣べ伝えよ．．．．

（マタイ一〇、五－七）

主イエスは弟子たちを伝道と奉仕のために人々のもとに送り出すにあたって、その人々のことを「失われた羊」といわれた。これはいかなる意味であろうか。

一、古代民族を生活形態のうえで農耕を主とするものと遊牧を主とするものの二つに分けることができる。イスラエル人＝ユダヤ人は当初は遊牧に生き、のち農耕をも加味したが、基本は遊牧民の精神をつらぬいた。人間と羊とはしたがって昔のわが邦の農夫が米を大切にいとおしんだと同じ情愛で結ばれていた。羊は無駄になるところはなにひとつない、有用な動物である。肉と乳は食用として、毛は布地として、皮はぶどう酒や水運びの容れ物、さらにひろげて縫い合わせて天幕として、角は角笛として役立った。かれらは数十、数百の羊であっても一匹づつ見分けて可愛いがった。少年になるとすでに教頭の羊の世話をまかされる。羊は遊牧民にとって最も大切な財産であり、神に感謝をあらわすときの尊い献物となった。

羊は一匹では生きてはいかれぬ弱い家畜である。かならず群をなすことによって庇護された。それでも群かから迷い出る羊はある。迷い出ればたちまち狼、獅子などの野獣の餌食になった。もと牧羊者であった予言者アモスはいく度か奪い去られて餌食となった羊の屍を取戻すかなしみを経験した。「羊飼が獅子の口から、羊の両足、あるいは片耳を取り返すように．．．」（三．一二）はその悲痛な叫びである。したがって、神の人間に対する愛の関係はかれらには、羊牧いと羊の結びつきのように理解された。次はその一例である。

一、羊飼い

羊飼い達は事実ときどき羊たちを守るために野獣と闘って怪我するだけでなく、身代りに倒れることもあった。主イエスが「よい羊飼は、羊のために命を捨てる」（ヨハネ一〇・一一）と言われるのは例話ではなくて、きびしい現実にもとづく証言であるし、そして「わたしはよい羊飼である」といわれたゆえんである。

二、人間、これも役に立つ点では万物のなかで多芸多才である。善の業においても悪の業においても三、そしてひとが自分に神から与えられた人生を救いへと完成させる。とはいかにむずかしいか。外因としては病気あり、不慮の災害あり、劣性遺伝による先天的な不主は牧者のようにその群れを養い、そのかいなに小羊をいだきそのふところに入れて携えゆき乳を飲ませているものをやさしく導かれる。

（イザヤ四〇・一一）

羊飼いの跡を顧みると共に、これを機に日系二世三世四世への伝道を強化拡大し更に近年激増しつつある留学生、商社マンをも教会に導きたい。そのためには日本のキリスト教界の協力応援も得て、太平洋を愛と祈りで結びつつ教勢の増強をはかりたい。これが百年祭の主旨である。

このために加州の日系諸教会が二年にわたって準備されただけあってプログラムも多彩で、厳粛な開会礼拝に始まり、講演、パネル

◎聖隷学園衛短祭

9月30日～10月2日、衛短祭が行われました。クラブ・サークルの発表やバザー、福井達雨先生の講演会、ロックグループとんぼのコンサート等を企画しました。何ケ月も前からの実行委員会の準備にもかかわらず、学生の反応があまりなく、盛り上りませんでした。

クラブ・サークルに参加している学生は積極的ですが、その他の学生はなぜ学園祭に参加しないのだろうと考えさせられました。しかしこの現象は現在、どこの大学においても少なからず見られるようです。今までの学園祭の存在や形そのものを考えなおすべき時期にきていると思います。

実行委員長　宮崎紀男

クリミヤ戦争とナイチンゲール（上）

教授　菅野保次

ひと度自分の感覚下におかれた患者を、独りさびしく死なせることはしない－というのがFのルールであった。（フローレンス・ナイチンゲールを以下Fと略称する）。私は永い臨床医生活を続けてきたが、この一言の前には恥しくて冷汗が背中を流れるばかりである。

Fはこのルールに忠実であったればこそ、一八五四年十一月五日スクタリの野戦病院に到着以来、翌年五月クリミヤ半島の諸病院視察のため黒海対岸のバラクラバに赴くまでの半年間に二、〇〇〇人の臨終に待し、四肢切断術のような大手術には必ずいち合うという看護をつづけることができたのであろう。その上、夜毎の病床見廻りは4マイル。兵士たちは彼女をクリミヤの天使と愛称した。

クリミヤ戦争が勃発して以来、英国民は傷病兵たちがどの様な悲惨な取扱いを受けていたか（これは英国陸軍の管理体制の欠陥からきていた）を知らなかった。

一八五四年十月九、十二、十三日にタイムズ紙に連載されたW・H・ラッセル氏の報道により、その実態が明らかになり彼等を吃驚仰天させた。

十月十四日、Fは親友の戦時大臣シドニー　ハーバート卿の夫人リッツ・ハーバートに手紙を書き、従軍したい旨を申入れた。この手紙と同一日附のハーバート大臣のFに対する従軍要請状が彼女の手もとに届いた。

Fは直ちに看護団の編成に着手し、非常な困難を打破して四一名のメンバーを揃え十九日には陸軍軍医局から公式命令をうけ、二十一日には戦地に向けてロンドンを出発した。従軍顧を書いて憧かに八日目である。電光石火の早業（はやわざ）とはこのことであろう。

スクタリには野戦病院の外に三つの病院があり、それらの病院の総軍医長官メンジーズ博士はにが顔をしてFを迎えた。部下の軍医や将校たちの顔も渋かった。彼等は各病院とも設備ずいぶん行き届いていると本国に報告してあった。女共の立ち入る場所ではないというのが彼等の腹の底だった。Fたちと同じ船で英本国は三名の調査団を派遣していた。それらの団員と共に一～二日後Fは各病院を巡回して聞きしにまさる惨状を見てあっけにとられた。

十一月のある日、数日中に五〇〇名以上の傷病兵が入院してくるだろうといわれたのに各病院は満員で収容の余地は全くなかった。Fは自分のポケットマネーその他で労務者を二〇〇名やとい、病室を改造して迎え入れの体勢を整えた。一方Fは看護婦を指揮してわら布団を作るなどしてこの危機を脱した。

学園の現況

事務局長　長谷川　了

内外の知恵を集め、我々の現状を分析しつつ、飛躍への道を拓こうとしている。その一部をのべてみる。

一、各種プロジェクト

昭和四七年に聖隷高校の定員は二四〇名、聖隷短大は二〇〇名計四四〇名であったが現在の定員は聖隷高校四〇五名、聖隷短大三五〇名計七五五名　大巾に増員されている。昭和六〇年までにさらに教育の内容を充実しつつ助産婦専攻課程の設置をも考え約二〇〇名の学園に成長したいと念願しており昭和五二年度はその準備として三つのプロジェクトチームを編成し、成果を上げつつある。

①短大定員増プロジェクトチーム

第一衛生看護学科（三年制）は昭和四九年に定員一五〇名でスタートしたが昭和五三年に定員を三〇〇名に増員するために六月三〇日に申請書を文部省に提出した。大学設置審議会等で審査が行なわれており一二月中頃に結論が出される見込みである。

最近の静岡県下の看護要員に対する需要は質的量的に大きく変化しつつある。人口一〇万人に対する病床数は全国の下から五番目である。この低病床率に対する看護要員の需要と供給は次表にみられるとおりである。病院では准看護婦の需要は大巾に満り余りつつあるが、看護婦は五年前の五・一倍も不足数が激増している。

i)病院における看護婦の不足数は昭和四五年に一九四人であったが昭和五〇年で九八九人となり、国立浜松医大附属病院の開設等を考えると今後増々不足の度を加えていくと思われる。

ii)病院における看護婦の需要の伸びは、昭和四五年から昭和五〇年の間に三四七人（一・八五倍）であるが、実際の供給数は一四二人となっている。また准看護婦の需要は逆に七四二名も減少している。これは病院の看護要員に対する期待が年々資質技術知識の高い看護婦に移っていることを示しており、県下に二つしかない看護短大として当短大は有能な看護婦の養成と准看護婦の再教育に努力していく必要がある。

②高校振興プロジェクトチーム

聖隷高校は昭和四八年から従来の衛生看護科から普通科に移行した。この三年間知識編重の教育を是正するため「労作」という教科を作り上げてきたが、さらに魅力ある学校作りをと西村校長を中心に生徒指導、進路によるコース制カリキュラムの実施、入学募集、就職先の積極的開拓等綿密な研究がなされた。その成果として中学校の教師父兄に当校の教育を理解してもらうために既に二回の「聖隷高校だより」を発行し、また積極的な就職先の開拓の結果、今年はほとんどの生徒の就職が早々に決定した。この研究成果は昭和五三年より大巾に実施されるので皆さんの期待に十分に答えられる高校に飛躍するだろう。

③スポーツ振興プロジェクトチーム

体育館の完成を機会に山口国一教授を中心にスポーツ関係部活の充実強化をはかるために研究がなされ、一二月中頃に最終結果が答申される見込みである。中間報告によると、高校一年生は全員部活加入の新機軸を打ち出した。特に強化充実するクラブとして男子はサッカー、バレー、卓球、テニス、女子はバレー、卓球、テニス、バスケット、ダンスをあげ、練習施設指導体制の整備充実を行う。

この成果はそれぞれの部活に表われてきており、男子バレーは私立浜松高校共通のユニホームを新調した。デザインは大きな十字架に魚をあしらったものである。ギリシャ語の「イエス・キリスト、神の子、救い主」の頭文字をとると「魚」という意になる。キリスト者は魚の形を示して互いにそれを確認した。

病院診療所、看護職員必要数と実働数及び充足率

		必要数			実働数			不足数			充足率		
		計	看護婦	准看護婦	計	看護婦	准看護婦	計	看護婦	准看護婦	計	看護婦	准看護婦
昭和45年末	病院	5.959	2.616	3.343	5,137	2.422	2.715	822	194	628	86.2	92.5	81.2
	診療所	1.733	792	941	908	331	577	825	462	364	52.3	41.7	61.3
	計	7.692	3.408	4.284	6,045	2.753	3.292	1,647	656	992	78.6	80.8	76.8
昭和50年末	病院	7.434	4.832	2.602	6,639	3.843	2.796	795	989	+194	89.3	79.5	107.5
	診療所	2.167	823	1.344	2,046	822	1,224	121	1	120	94.4	99.9	91.1
	計	9.601	5.655	3.946	8,685	4.665	4,020	916	990	74	90.5	82.5	101.9

静岡県衛生年報より≪県衛生部≫

二、ヴェトナム難民を迎えて

ヴェトナム難民は民主主義が十分に発達していない国が、永い戦争の末に「力」によって社会体制が革命的に転換されることによって生み出された悲劇である。

一行三五名は言論の自由職業の自由を求めて幅三M長さ11Mの小さな船に乗って南シナ海を漂流中に日本の貨物船に救助された。九月四日に当学園の敷地内にある愛光寮に着いて以来、連動会バレーボール大会家庭料クラブの夕食招待会等を通して当学園の学生、教職員と友情を深めている。この二ケ月余りの間にすっかり元気を取り戻した彼等は将来を希望するアメリカ、カナダ、オーストラリアでの生活に備えて午前中は当学園の6人の教員から英会話を熱心に学び、午後は四人の教職員からスポーツを学び体力作りに励んでいる。彼等の多くは年内に希望の国へ行ける見通しであるが、離散状態の家族であり、多くは青少年であることを考えるとき、行く手には多くの困難が予想される。明るく人なつっこい彼等の人生が幸わせと希望に満ちた人生に変ることを、そしてヴェトナムに残った家族の上に平安があるように祈らずにはいられない。

昭和53年度　学生・生徒募集

□聖隷学園高等学校　＝普通科＝

キリスト教精神に基づく全人教育をめざす。
本学園．衛生短大へ推薦進学が多い。（人物・健康・学力とも優れた者）

- 募集人員：全日制課程　普通科135名
- 願書受付：2月9日（木）～2月15日（木）
- 試験科目：国語・数学・英語
- 試験日程：2月21日（火）。22日（水）　健康診断及び面接を含む。
- 合格発表：2月25日（木）　正午
- 入学手続：2月27日（月）　までに手続を完了します。
- 寄宿者完備　・募集要を必要とする時は、返信用切手を添え申込下さい。

□聖隷学園浜松衛生短期大学　・看護婦（士）　国家試験受験資格を得る。

・募集定員：第一衛生看護科（3年制）　50名（定員増申請中）
（男女共学）第二衛生看護科（2年制）100名

	推薦試験	一般1次試験	一般2次試験
願書受付	昭和53年 11月1日(月)～12月10日(日)	昭和53年 12月16日(土)～2月10日(金)	昭和53年 3月1日(水)～3月8日(水)
試験日	12月17日(日)	2月18日(日)	3月25日(日)
合格発表	12月21日(水) 正午	2月23日(木) 正午	3月27日(月) 正午

試験科目			
1. 作文	第一二年制	1：作文	必修
2. 面接		2：現代国語	必修
		3：生物Ⅰ・化学Ⅰ・物理Ⅰ	1科目選択
		4：面接	必修
	第二三年制	1：作文	必修
		2：現代国語	必修
		3：生物Ⅰ・基礎看護医学（看護一般）	1科目選択
		4：面接	

※申込先　〒433：浜松市三方原町3453　聖隷学園事務局学務部宛

◎夏期教職員研修会

8月25・26両日、夏期教職員研修会が、厚生会館において行われた。昨年に引き続き、長谷川理事長の「聖隷の精神」、宮城学院長清水一郎先生の「私学を考える－教育と運営－」の、二講演を中心に、前者については毎月の合同職員会に講師をお願いしてきた聖隷内各施設長の座談、後者については学園内各部責任者の座談会を行い、全員が分団討議において、疑問を投げつつ考え合った。

「個々の若い魂の成長、永遠の生命へとはばたける人、そうなるように共に励まし、そうなるように共に歩む」と、教育の原点を示し、現代を「歴史の黙示録的段階」と洞察し、キリスト教主義私学教育の史的意義を説かれる清水先生の絞り出される様なことばに、身の引きしまる思いをして、散じた。

◎菅野奨学会発足

短大教授菅野保次先生は、永く医師として研究と医療の道を歩まれ、国立小樽療養所を退官後、十字の園老人ホームの医師として、又本学園教授として働いておられる。今回、学生生徒の奨学金として、一千万円を寄贈された。社会福祉、医療等に貢献する志をもって勉学する学生生徒及び卒業生の修学の為に用いられる。

◎訃　報

長谷川理事長とともに、遠州キリスト学園の設立にあたった福原達三先生は、去る八月三十一日、交通事故のため逝去された。先生は、浜松高等工業学校（現静大工学部）の教授の地位を捨てて、キリスト教に立つ教育に献身された。御遺族の遺志により、百万円が学園に捧げられ、奨学資金、研究指導費、図書費に当てられた。

◎およろこび

＊叙勲

山口国一教授（静大名誉教授体育科主任）は、永年の教育功労により、11月3日文化の日に勲三等旭日中綬章を受与され、同17日祝賀会を行った。

＊御結婚

5・8　佐藤　稔　高校
11・6　長谷川勝俊　短大
11・20　伊藤明美　事務
12・18　清水孝俊　事務
松本啓子　高校

◎親善バレーボール大会

11月5日、愛光園ベトナムの人々の特別参加により、4回目の聖隷全体のバレーボール大会が、開かれ、NHKを始めとする報道陣のカメラの中、熱戦が行なわれました。

学園教職員人事

◇新任発令

4・1　大倉信彦　高校教諭
並木　薫　短大教授
森　保子　〃講師
坂田節子　〃助手
古橋千佳子　事務学務部
5・9　坂下里美　〃秘書
城ヶ端初子　短大講師
6・1　袴田幸江　〃助手
7・1　千葉ひろ子　〃講師

◇退任発令

10・3　中原英雄　短大
3・31　後藤　貞　〃
稲荷昭子　〃
小出妙子　事務
松下洋子　〃
7・31

学園行事経過

◇4月
8・高校、6・短大入学式

◇5月
学園創立記念
28・学園理事・評議員会　高校
14・PTA総会　高校
14・ナイチンゲール記念　短大

◇6月
11・短大後援会総会

◇7月
2・学園理事・評議員会
15・中高連絡会　高校
22～高校、25～短大　夏期休業
28～8/3・ワークキャンプ　高校

◇8月
25・26　学園教職員夏期研修会

◇9月
1・始業式
30・前期終了　短大
30～10/2・衛短祭　短大
3・後期授業開始　短大
8・休育祭　高校
11～・Ⅱ科2年学外実習　短大
29・収穫感謝祭　高校
31・学園防災訓練

◇11月
7～11・キリスト教教育週間

◇12月
12・学園理事・評議員会
17・推薦入学試験　短大
15・短大、23・高校　クリスマス礼拝
19～短大、24～高校　冬季休業

学園報第3号発行

同窓会ニュース

現在の役員は次の方たちです

◇高校
会長　原品すみ江　一期生
副会長　杉田政直　八期生

◇短大
会長　湊　栄子　二期生
副会長　浅井　民　一期生
安間富貴子　二期生

◇昇格発令
4・1　鈴木長見　事務学務部長
10・20　清水孝俊　事務総務部長
補佐